

## 《日本テクノ(株)「電力コンサルティング」導入レポート》

# 「HOTEL GATE BALI」—— 節電対策を活用しスタッフのモチベーションを向上

### ◆使用電力量の“見える化”で節電

今春からの東京電力の電気料金値上げもあり、節電対策に取り組むホテルから注目が高まっているのが、日本テクノ(株)が実施する「電力コンサルティング」である。

ホテルの使用電力量を“見える化”し、そのデータ分析をもとに、無駄な使用電力を抑えて節電する、という仕組みだ。「スマートメーター」という30分単位で使用電力量を表示する装置を設置(時計タイプの「スマートクロック」もある)し、曜日・時間帯ごとに節電可能な箇所をチェックして節電方法を検討、スマートメーターに30分単位で目標の使用電力量を設定する。スマートメーターはリアルタイムで目標値に対する使用電力量の%を色や絵柄でわかりやすく表示し、オーバー時にはアラームで知らせる。つまり「いつ」「何を」「どうすればよいか」、最適な節電の行動とタイミングがわかる」システムなのである。

この電力コンサルティングは、ホテルはもちろん幅広い分野ですでに3万8,000件の導入実績がある。電気料金の削減効果は平均で11.3%(導入100社の調査結果)とのデータがあり、



使用電力量の現状が見える「スマートメーター」



「HOTEL GATE BALI」

大きな節電効果が実証されているといえる。

また、この電力コンサルティングの導入費用や管理費用(Webによるデータ閲覧、半年ごとの訪問説明等の費用)は、施設規模によって異なるので、お問合せいただきたいとしている。

### ◆「HOTEL GATE BALI」の活用法と効果

「HOTEL GATE BALI(ホテル ゲートバリ)」は、2005年に神奈川・厚木にリニューアルオープンした15室のホテル。バリテイストの上質な客室空間と充実したコスメ・アロマ・飲食など細やかなサービス等で利用者から高い評価を得ているホテルだ。

同ホテルは、リニューアル時から日本テクノにキュービクルの保安管理を依頼してきたが、2010年6月に同社の「スマートメーター」を導入した。

同ホテルを経営する三和興業(株)代表取締役・高木慶太氏は「顧客満足を追求するには、スタッフが意欲的に働ける環境が重要です。スマートメーターは、節電効果も期待しましたが、それ以上にスタッフのモチベーション向上につながるツールとして活用できると考え導入しました」と語る。

つまり<スマートメーターを採用す



フロントに設置した「スマートメーター」と高木慶太社長

る>→<節電への具体的な対応方法が明確にわかる>→<従業員自らが節電に取り組むようになる>→<従業員のコスト意識や顧客満足意識が高まる>というのである。「節電しなさいという指示をすれば、社長対スタッフの図式になる。それが社長&スタッフ対スマートメーターの図式で取り組める。その結果、一体感が生まれ運営全体にいい影響を及ぼします。まさにこれが私が望んでいたことです」という。

スマートメーターを使った節電対策が、コスト削減にとどまらずスタッフの意識向上にまで活用されている好例といえるだろう。

### 【HOTEL GATE BALI データ】

◇導入：2010年6月

◇契約電力：56kW(2010年)

→49kW(2011年)

約12%削減

◇使用電力：295,352kWh(2010年)

→263,575kWh(2011年)

約11%削減

[問合せ]

(株)テイダン(日本テクノ係)

東京都千代田区内神田 1-4-13

CRC 北大手町ビル 6F

TEL.03-3518-2866

FAX.03-3518-2867